

## 平成 29 年産「豊水」の果実成熟特性予測について

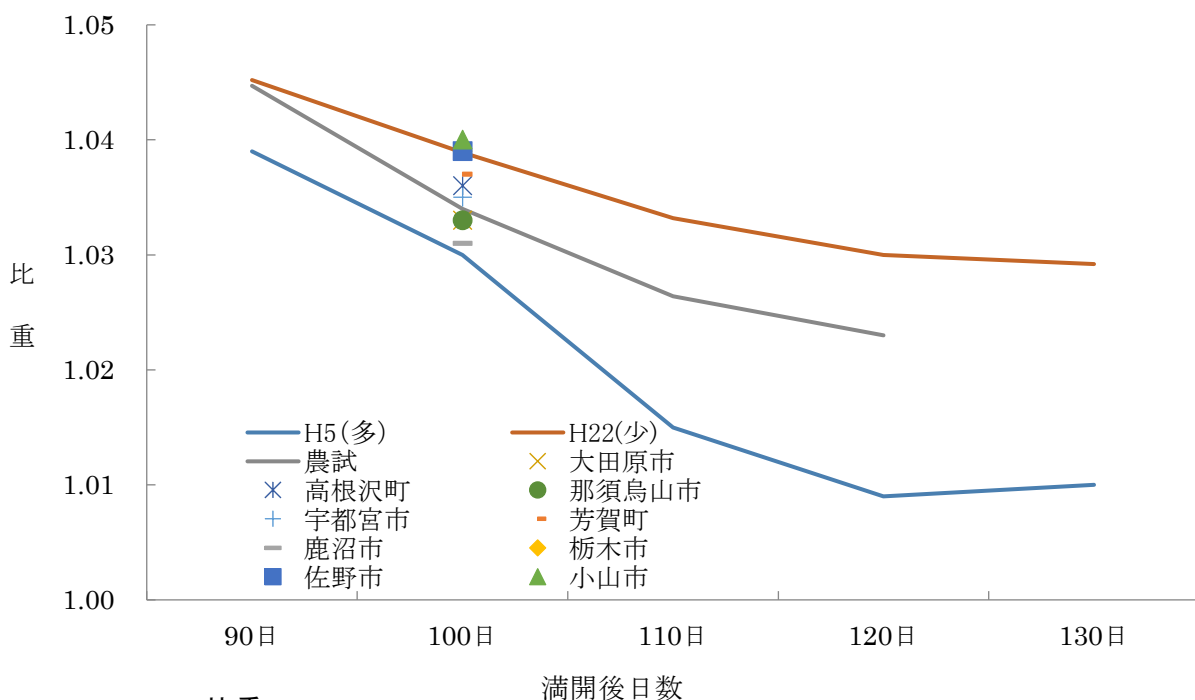
平成 29 年 8 月 30 日  
栃木県農政部経営技術課

### 1 「豊水」の果実成熟特性予測

開花後の気温（満開日から 38 日間の平均気温）は高く経過し、「収穫前 60 日～41 日の平均気温」が高く推移したことから、通常の年であれば「みつ症」及び「す入り」の発生は「少ない」と考えられる。しかし、本年については、7 月下旬以降、日照不足（長雨）で経過したため、以下の調査結果のとおり、比重は「みつ症」多発年（平成 5 年）と「みつ症」少発年（平成 22 年）の間だが低下が早く推移しており、果実の硬度は、「みつ症」多発年（平成 5 年）と同程度となっている。このことから、総合的に判断すると、「みつ症」及び「す入り」の発生は、「並」であるが、果実の硬度が低いことから収穫後、「おせ果」の発生が懸念される。

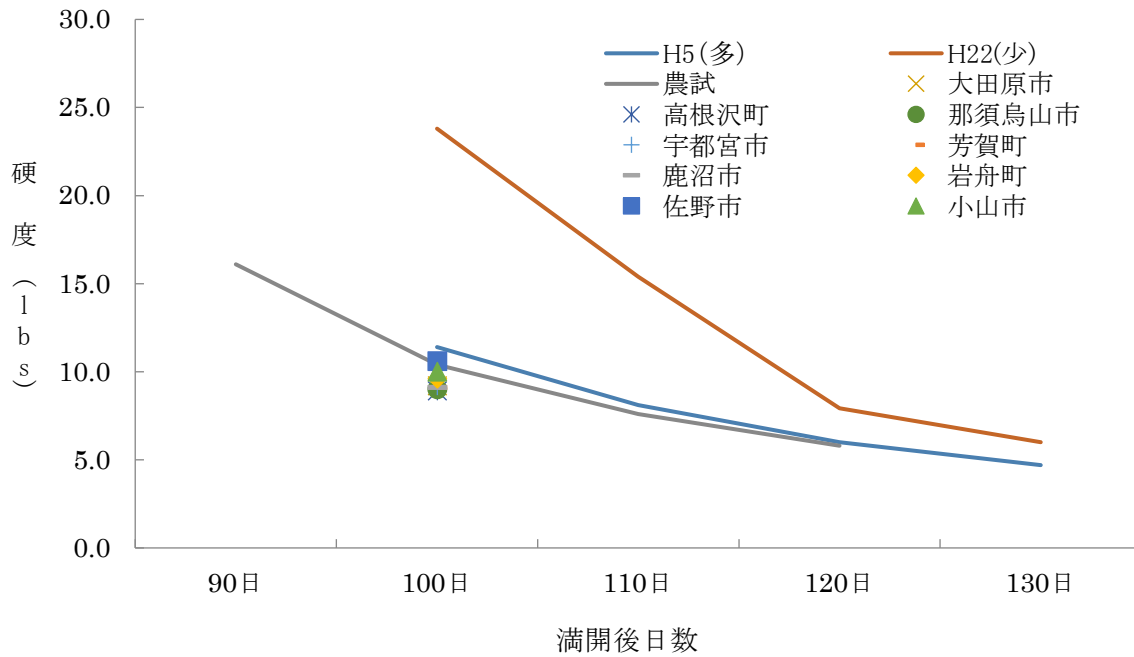
以上のことから、本年は収穫に際し「みつ症」及び「す入り」の発生や収穫果の取扱いに十分注意する必要がある。

#### (1) 比重



| 比重     | 90 日  | 100 日 | 110 日 | 120 日 | 130 日 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| H5(多)  | 1.039 | 1.030 | 1.015 | 1.009 | 1.010 |
| H22(少) | 1.045 | 1.039 | 1.033 | 1.030 | 1.029 |
| 農試     | 1.045 | 1.034 | 1.026 | 1.023 |       |
| 大田原市   |       | 1.033 |       |       |       |
| 高根沢町   |       | 1.036 |       |       |       |
| 那須烏山市  |       | 1.033 |       |       |       |
| 宇都宮市   |       | 1.035 |       |       |       |
| 芳賀町    |       | 1.037 |       |       |       |
| 鹿沼市    |       | 1.031 |       |       |       |
| 栃木市    |       | 1.039 |       |       |       |
| 佐野市    |       | 1.039 |       |       |       |
| 小山市    |       | 1.040 |       |       |       |

## (2) 果実硬度について



| 硬度     | 90日  | 100日 | 110日 | 120日 | 130日 |
|--------|------|------|------|------|------|
| H5(多)  |      | 11.4 | 8.1  | 6.0  | 4.7  |
| H22(少) |      | 23.8 | 15.4 | 7.9  | 6.0  |
| 農試     | 16.1 | 10.4 | 7.6  | 5.8  |      |
| 大田原市   |      | 9.2  |      |      |      |
| 高根沢町   |      | 8.9  |      |      |      |
| 那須烏山市  |      | 9.0  |      |      |      |
| 宇都宮市   |      | 9.2  |      |      |      |
| 芳賀町    |      | 9.1  |      |      |      |
| 鹿沼市    |      | 9.1  |      |      |      |
| 岩舟町    |      | 9.6  |      |      |      |
| 佐野市    |      | 10.6 |      |      |      |
| 小山市    |      | 10.0 |      |      |      |

## 2 今後の栽培管理

「豊水」の「みつ症」や「す入り」は、収穫初期に、古い結果枝で葉数の少ない短果枝上の「先熟果」に発生が多いので、収穫前の最終摘果（樹上選果）を実施するとともに、収穫時の果実確認を徹底する。果実が過熟になると発生が多くなるため、収穫が遅れないように適期収穫に努め、「みつ症」や「す入り」の発生が多い場合は、収穫時のカラーチャートを「やや青目」で収穫する。

また、カイガラムシやシンクイムシ類の発生が見られることから豊水の収穫開始前に適正に防除する。黒星病は、生育前半において少なかったが、7月下旬以降の天候により果実感染や秋型病斑が発生していることから、収穫後の秋期防除と落葉処理を徹底する。